

城下町高田花ロード

城下町高田花ロード実行委員会
実行委員長

大嶋喜久雄

第九回目の城下町高田花ロードが、本年も十月六日～八日と体育の日を中心に実施されました。近年、作品の出展数が減少し、大規模な作品も少なくなってきました。そこで、今回は初めての試みとして、現代アート作家や造園関係のプロあるいは美術系大学の先生等に、招待作家として出展の依頼を致しました。また老健やグループホーム等の団体にも、積極的に出品依頼を行った結果、点数で前年を多少上回ることになり、作品のグレードも上がったのではないかと考えております。花ロードの来場者数は天候に左右されるところが大きいわけですが、今回はお天気に恵まれ、三日間で凡そ四万人の人数がありました。ここ数年は、「お馬出し遊市」や「あわゆき組」等のまちづくり団体の皆さんと連携し、本町商店街以外でも様々なイベントが開催され、相乗効果

により高田の街の賑わいが増幅され喜んでおります。

また、三回目位から関東地区より大学の学生さんを中心に「こへび隊」という名称で多い時には十数人の方々が、作品を出展してくださいます。彼らの作品は現代アートのものが多いわけですが、高田の街並みに非常にマッチするものが多く、また、ユニークな作品もあり毎回来しみにしております。現代アートの作品を屋外に展示することは、いろいろな制約が多く大変なようですが、ここ高田花ロードでは堂々とおもいきり作品発表が出来ますので、今後は更に多くの作家の方々が出展して下さることを期待しております。

九回目の城下町高田花ロードが終了し、未だ様々な反省点も多々ありますが、今後、厳しい冬を迎える前の穏やかな秋

の三日間を、市民の皆様楽しんで頂けるお祭りにしたいと思っております。

なお、来年は十回目という節目を迎えます。記念になるような企画をと、実行委員会皆で今から考えを巡らせております。このお祭りは作品参加して頂くことが、第一義ですのでJネット会員の皆様も、積極的に出品して頂き、来年十月にはふるさと高田の地で、高田花ロードをいっしょに満喫しませんか。

